

平成31年度 事業計画書

素形材産業は我が国の機械産業を支える機械部品を生産・供給する基盤的産業である。この素形材産業の総合的な発展を図るため、今年度は引き続き、素形材人材育成、素形材普及啓発及び素形材交流促進など素形材産業の振興に取り組むとともに、素形材技術等の研究開発などを推進する。

1. 素形材人材育成事業

素形材産業の技術・技能の充実・継承のため、鋳造等の素形材産業に従事する技術者・技能者や、従事しようとする者を対象とした「素形材技術研修講座」を実施する。

中堅技術者を対象として鋳造、鍛造、IT・IoT、環境等についての最新の素形材に関する技術について、情報を収集・提供するため「素形材技術セミナー」を、また、国内外の経済動向、IoT化の進展等素形材ユーザー業界の動向等に関する最新の経営情報を収集し、素形材企業経営の最前線にいる経営者等を対象にした「素形材経営セミナー」を開催する。

2. 素形材普及啓発事業

1) 素形材情報収集発信事業

素形材産業を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、企業経営、技術、情報化、国際動向等の経営革新に資する経営情報及び技術情報を収集・提供する。

ホームページの活用、メールマガジンの配信、展示会への出展等で、アップ・ツー・デートの情報を提供する。

また、素形材情報出版事業として、月刊情報誌「素形材」、「素形材年鑑」、各種の「報告書」等を発行する。

2) 素形材月間普及事業

「素形材産業の活性化」と「素形材さらにはものづくり」に対する一般の理解向上を目的に、11月を「素形材月間」として各種事業を進めるとともに、素形材関連団体のイベントの集中開催を推奨する。月間記念式典を11月1日に開催する。

3) 素形材産業顕彰事業

我が国の素形材産業に係わる技術の開発・実用化等により技術水準の向上に貢献した技術の開発者及び素形材に従事する卓越した技能者等を表彰する事業を実施する。

受賞技術等は、月刊誌「素形材」及びホームページ等で紹介し、素形材産業の発展を促進する。

3. 素形材交流促進事業

素形材産業の振興を図るため、素形材団体の交流促進、経済産業省との意見交換、素形材ユーザー業界との懇談会等を実施する。具体的には、素形材関係団体の交流委員会や交流懇談会の定期的な開催、経済産業省幹部と素形材産業界首脳が意見交換を行う場として素形材産業会長会の開催、日本自動車部品工業会等との懇談会を企画・開催する。

4. 次世代材料技術研究開発事業

複合材構造を多用した航空機の安全な運航に資するための複合材構造健全性診断技術の開発、低コストで効率のよい構造部材加工プロセスの開発及び航空機構造用マグネシウム合金の開発を受託事業としてRIMCOF技術研究組合で実施する。

航空機構造材料にとって今後重要となる材料技術について調査する。

5. 素形材技術研究開発事業

中小企業に係る戦略的基盤技術高度化支援事業などを受託事業等として実施する。

6. 素形材産業に関する調査・研究事業

素形材産業の振興に寄与するため、素形材産業の振興に係る調査研究等の事業を実施する。

以上の事業を進めるに際し、より効率的な運営を目指すため、事業の実施方法及び実施体制の検討を行い、必要に応じてその改善を図る。

また、事業の実施に際しては、次の委員会等を活用して実施する。

- ① 素形材経営企画調査委員会
- ② 素形材団体交流委員会
- ③ 素形材編集委員会
- ④ 素形材技術研修委員会
- ⑤ 素形材産業技術表彰委員会
- ⑥ 素形材産業優良従業員表彰委員会
- ⑦ 次世代材料技術動向研究会企画部会

その他必要に応じ、委員会を設置する。